

令和3年6月29日

農業技術センター技術普及部

<b>標 題</b>	石見銀山白ねぎの会へ「美味しまね認証ゴールド」研修会を開催！ ～野菜で第1号の団体認証取得を目指して～
------------	--

(ダイジェスト)

6月18日、石見銀山白ねぎの会（構成員10戸）に対し、島根県版GAPである「美味しまね認証ゴールド」の団体認証取得にむけた研修会を開催し、農場管理マニュアルおよび帳票の作成方法等の説明を行いました。

石見銀山白ねぎの会は集落営農法人を中心に10戸で構成され、ほ場整備を契機とした作付推進により、近年順調に栽培面積を拡大しています（令和2年度：313a）。この取り組みを加速化させるため、令和2年度には水田園芸拠点づくり事業を活用し、移植機や根葉切り機、皮むき機等を導入しました。事業要件として、島根県版GAPの上位認証である「美味しまねゴールド」を含む国際水準GAP認証の取得が必須となっているため、今年度中の上位認証取得にむけて準備をすすめ、去る6月18日に構成員へ向けて研修会を開催しました。

研修会には17名の生産者が出席し、その関心度の高さを伺わせました。白ねぎの会の構成員は、美味しまね認証（基本認証）を含め、全員がまだGAPへ取り組んだことがないため、まずは、GAPとその必要性について話をした後、農場管理マニュアルについて管理点1つずつ丁寧に考え方や帳票作成方法の説明を行いました。2時間半を越える長丁場の研修会になりましたが、適宜質問が挙がり、認証取得に向けた意気込みを感じる研修会となりました。

今後は、野菜で第1号の団体認証取得を目指し、10月の現地審査にむけて団体事務局および大田農業部と連携を図りながら認証取得を支援していくこととしています。0（ゼロ）からのスタートになりますが、全員が無事に認証を取得し、GAPに取り組んで良かったと感じられるよう、しっかりとサポートを行っていきます。



「美味しまね認証ゴールド」研修会